

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ（教育・文化）

施策名称		総括評価	今後の方向性
01創意ある学校教育の推進	B	<p>目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進して参ります。</p>	<p>学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。AETの拡充や教員への研修により、語学指導の充実を図ります。地場産物のさらなる活用を目指します。</p>
2学校施設の整備・充実	B	<p>目標値に達していない指標があるものの、ICT環境整備について、パソコン教室のタブレット整備を令和元年度に全小学校で完了しました。市内小中学校全校での整備が完了したことにより、効果的な教育環境づくりが概ね達成されています。</p>	<p>統合再編等により、小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで、児童生徒のより良い学習環境や生活環境、人間関係の構築を目指し、ICTの環境整備を含め、望ましい教育環境の整備を目指します。</p>
3生涯学習の推進	B	<p>生涯学習情報の収集や提供を行うことで、生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や、知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し、社会還元型の生涯学習を推進します。</p>	<p>市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに、幅広い年齢層への広報活動を促進します。</p>
4生涯スポーツの推進	A	<p>令和元年9、10月に石岡運動公園体育館にて、いきいき茨城ゆめ国体が開催されたため、当該施設の利用者が増加しましたが、他施設については下落傾向です。 親善武道大会にて、競技種目が追加されたため、参加人数が増加しています。 スポーツフェスティバルが好評であり、又、昨年好評であった水中ウォーキングを2回開催したため、参加者が増加しています。</p>	<p>多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。</p>

06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ（教育・文化）

施策名称		総括評価	今後の方向性
5文化・芸術の推進	B	<p>市民が文化芸術に親しみ、創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで、一定の役割を果たしています。また、自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために、様々な活動に参加する機会の充実を図りました。</p>	<p>令和元年度に文化芸術推進基本計画を策定したことから、この計画に基づき市民や文化芸術団体への支援や機会の提供に努め、文化芸術の活性化を図っていきます。</p>
6青少年の健全育成	B	<p>青少年が健やかに成長することを目指し、青少年の健全育成に資する各種事業を実施しています。家庭、学校、地域と連携しながら、活動体制の充実を図り、社会環境の健全化活動により、地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。</p>	<p>青少年が心身ともに健やかに成長できるよう、地域に根差した各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。</p>
7歴史・文化財の保護・活用	B	<p>発掘調査経費、文化財保護保存及び普及経費について計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。さらに、企画展や文化財調査報告会を開催し活用をはかりました。また、茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺とともに国指定史跡化を目指します。</p>	<p>保存活用地域計画を策定し適正な保護保存活用をはかってまいります。また、常陸国分寺跡保存活用計画が策定されたことからその運用をはかってまいります。</p>

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	O6歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	O1創意ある学校教育の推進
具体的取り組み例	特別講師による多種多様な学習活動の推進，地元産の食材を活用した学校給食の実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	目標値に達していない指標があるものの、ふるさと学習を取り入れるなど、各小中学校の独自性を持った多様な学習推進が概ね達成されています。また、学校給食の実施においては、地場産物の活用率は目標を達成しており、今後も地元産食材の活用を推進して参ります。
		今後の方向性	学校・保護者・地域の人々により、連携・協力しながら地域の教育力を活かした学校づくりを推進します。AETの拡充や教員への研修により、語学指導の充実を図ります。地場産物のさらなる活用を目指します。

2 主要事業の概要

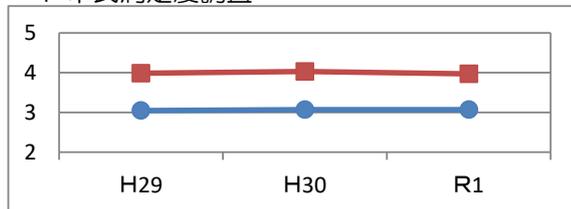
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
語学指導事業【教育総務課】	AETを活用した英語教育を継続することで、児童生徒が英語に慣れ親しみ、英語学習に意欲的に取り組むことができています。今後は、現行の取り組みを継続するとともに、学習指導要領の改訂に対応するため、AETの拡充や外部講師等を活用した教員に対する研修等の充実を図ります。
学校いきいきプラン推進事業（小・中学校）【教育総務課】	各学校の独自性を生かした教育の実施が達成されていると考えられます。より質の高い事業内容となるよう各校で研究を深めるとともに、経費の削減を踏まえた効率的な事業実施が必要であると考えられます。
八郷給食センター調理業務経費【学校給食課】	継続して衛生管理の徹底及び衛生教育を実施することで、今後も安心・安全な給食の提供を実施します。
石岡給食センター調理業務経費【学校給食課】	今後もより一層の衛生管理と衛生教育を実施します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
いきいきプラン推進事業の事業数	いきいきプラン推進事業の事業数	回	215 (H28)	230	234
英語に興味を持つ児童数の割合（小学校）	英語でもっと会話をしたいと思う児童数の割合	%	93.4% (H28)	95.0	91.3
英会話県南地区予選最終選考進出生徒数(中学校)	インタラクティブフォーラムの地区予選最終選考に進出した生徒数	人	0 (H28)	4	1
学校給食における地場産物の活用	地場産食材数/総食材数	%	53.7 (H29)	59.0	67.5

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.05	3.99
平成30年度調査	3.07	4.03
令和元年度調査	3.07	3.97

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	02学校施設の整備・充実
具体的取り組み例	学校施設の改修工事，ICT化，学校施設個別施設計画の策定，空調設備導入のための設計業務委託

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		目標値に達していない指標があるものの，ICT環境整備について，パソコン教室のタブレット整備を令和元年度に全小学校で完了しました。市内小中学校全校での整備が完了したことにより，効果的な教育環境づくりが概ね達成されています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性 統合再編等により，小中学校の適正規模・適正配置等を推進することで，児童生徒のより良い学習環境や生活環境，人間関係の構築を目指し，ICTの環境整備を含め，望ましい教育環境の整備を目指します。

2 主要事業の概要

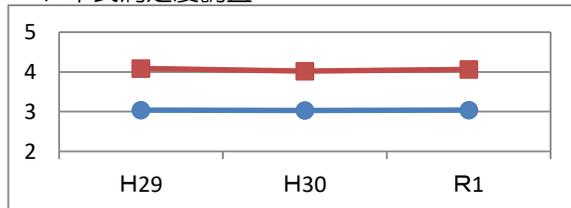
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
ICT環境整備事業【教育総務課】	文部科学省が進めているGIGAスクール構想の実現に向けて整備を進めます。一人一台端末の整備，ネットワーク機器の充実など，ICT機器がより快適に使えるよう環境の充実に努めます。
学校施設事務費【教育総務課】	施設維持のため必要な事業費であるとともに，統廃合等により残った施設の管理費等維持費を計上しています。統廃合後の施設利活用についても検討が必要です。
学校維持管理経費【教育総務課】	より適正な管理に向け，情報収集するとともに，経費削減に向け調査研究が必要です。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
適正規模の学校で学ぶ児童生徒比率	適正規模の学校で学ぶ児童生徒数÷児童生徒総数	%	66.52 (H29)	74.1	63.14
教育用タブレット端末の導入	教育用タブレット端末導入校数÷市内小中学校数	%	16 (H29)	100	100

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	4.09
平成30年度調査	3.03	4.02
令和元年度調査	3.04	4.06

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	03生涯学習の推進
具体的取り組み例	公民館での各種講座・学級の開催，図書館の利用促進，放課後子ども教室の実施

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		生涯学習情報の収集や提供を行うことで，生涯学習の推進を図っております。市民の「生きがい」創出や，知識・経験とともに豊富な地域の人材を大いに活用し，社会還元型の生涯学習を推進します。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		市民が生涯いきいきとした生活を送れるための事業を実施するとともに，幅広い年齢層への広報活動を促進します。

2 主要事業の概要

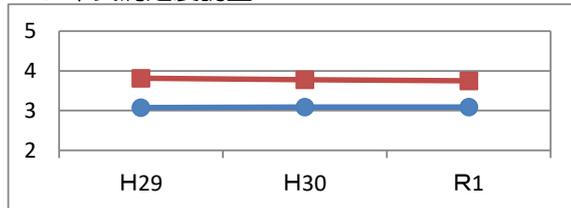
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
中央図書館管理運営経費【生涯学習課】	利用者のニーズに沿った図書館運営の実現を図ります。
中央公民館管理運営経費【中央公民館】	市民が生涯いきいきとした生活を送れるよう，各種講座・学級等を開催し，学習の機会を提供します。利用しやすい施設を目指し，施設環境を整備するとともに，利用者の拡大を図ります。
放課後子ども教室推進事業【生涯学習課】	地域の協力者，ボランティア及び学校と連携して事業を実施し，子どもたちの社会性，自主性，創造性等の豊かな人間性をかん養することができました。また，市内全校での実施と，放課後児童クラブに入所する児童も含めて希望者全員が参加でき，効率的な運営ができるよう，令和2年10月から「放課後子ども総合プラン運営事業」を民間委託して実施します。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
市民講師講座参加者数	市民講師講座参加者数	人	8,280 (H28)	9,500	8,470
公民館の年間利用者数	同好会・講座等で公民館を利用した人数	人	52,461 (H28)	53,100	42,048
図書館の年間利用者数	図書資料等の年間借受者数	人	80,648 (H28)	84,000	67,732
放課後子ども教室参加者数	放課後子ども教室に参加する児童数	人	718 (H28)	780	573

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.82
平成30年度調査	3.09	3.78
令和元年度調査	3.09	3.75

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	04生涯スポーツの推進
具体的取り組み例	つくばねマラソンなどのイベントの実施，ニュースポーツの推進

1 総括評価

進捗状況評価	A	総括評価
		<p>令和元年9、10月に石岡運動公園体育館にて、いきいき茨城ゆめ国体が開催されたため、当該施設の利用者が増加しましたが、他施設については下落傾向です。</p> <p>親善武道大会にて、競技種目が追加されたため、参加人数が増加しています。</p> <p>スポーツフェスティバルが好評であり、又、昨年好評であった水中ウォーキングを2回開催したため、参加者が増加しています。</p>
		今後の方向性
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	<p>多種多様な市民からのニーズに応えられるように、施設の維持管理・環境整備や開催イベントの改善を行っていきます。</p>

2 主要事業の概要

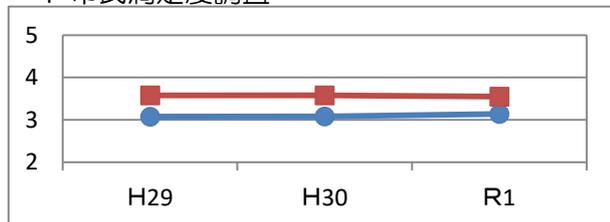
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
スポーツイベント事業【スポーツ振興課】	市民の体力向上と豊かな心を育むためにスポーツイベントの充実に努めるとともに、市外からの参加者に対して石岡市の魅力を発信します。また、マラソンイベントに関しては更なる参加者を獲得するために、ハーフマラソンの具体化を検討します。
体育振興活動経費【スポーツ振興課】	各スポーツ団体等へ大会・教室等の開催を依頼し、スポーツの普及振興を図ってきました。今後も社会情勢の変化や市民ニーズを的確に捉え、ニーズに応えられる事業選定をするなど、更なるスポーツの推進に努めていきます。
社会体育一般経費【スポーツ振興課】	スポーツを愛好する市民のすそ野拡大と、更なる目標への向上に寄与することができていると考えます。スポーツを愛好する市民のニーズを把握しながら、表彰基準等の妥当性を検討し、スポーツに関わる人たちの励みとなる施策を展開できるように努めます。 また、茨城国体や東京オリンピック・パラリンピックを契機に、更なるスポーツの普及、ひいては生涯スポーツの推進を目指します。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
スポーツ施設利用人数	スポーツ施設を利用した延べ人数	人	315,170 (H28)	346,600	295,024
青少年スポーツ大会参加人数	各競技の青少年スポーツ大会参加延べ人数	人	2,463 (H28)	2,463	2,466
スポーツ推進事業参加者数	スポーツ推進教室参加延べ人数	人	640 (H28)	760	961

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.08	3.58
平成30年度調査	3.08	3.58
令和元年度調査	3.14	3.55

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	05文化・芸術の推進
具体的取り組み例	美術展・文化祭などの開催，文化芸術活動の支援

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	市民が文化芸術に親しみ，創る人・観る人が創造性豊かな地域文化の向上を図るうえで，一定の役割を果たしています。また，自主的に文化芸術活動を行う団体を支援するために，様々な活動に参加する機会の充実を図りました。
		今後の方向性	令和元年度に文化芸術推進基本計画を策定したことから，この計画に基づき市民や文化芸術団体への支援や機会の提供に努め，文化芸術の活性化を図っていきます。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要		

2 主要事業の概要

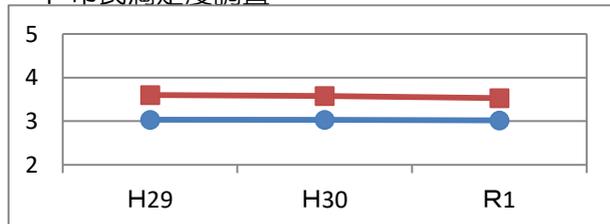
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
芸術・文化振興事業【文化振興課】	これまで文化芸術団体や市民と連携をはかりながら，市民の自主的な文化芸術活動の展開に取り組んできました。今後は将来の世代が地域の文化や伝統を守り育てるため，市民の自主的な文化活動を支援します。また，その担い手である市民の意見が反映された文化芸術推進基本計画を策定したことから計画の進行管理に努めていきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
市民会館施設利用回数	ホール・会議室の利用回数	回	2,522 (H28)	2,350	2,049
市民会館施設利用者数	ホール・会議室等（8室）の利用人数	人	67,803 (H28)	65,000	59,286
石岡市美術展の開催	石岡市美術展の来場者数	人	964 (H28)	1,500	817
文化協会の育成	文化協会の加盟団体数	団体	35 (H28)	35	31

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	3.04	3.60
平成30年度調査	3.03	3.58
令和元年度調査	3.02	3.53

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	06青少年の健全育成
具体的取り組み例	青少年相談員による街頭活動等の補助・支援，青少年を育てる市民の会，石岡市子ども会育成連合会の活動補助

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価
		青少年が健やかに成長することを目指し，青少年の健全育成に資する各種事業を実施しています。家庭，学校，地域と連携しながら，活動体制の充実を図り，社会環境の健全化活動により，地域に根ざした青少年健全育成活動を推進しています。
	A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	今後の方向性
		青少年が心身ともに健やかに成長できるよう，地域に根差した各青少年関連団体活動の推進に努めていきます。

2 主要事業の概要

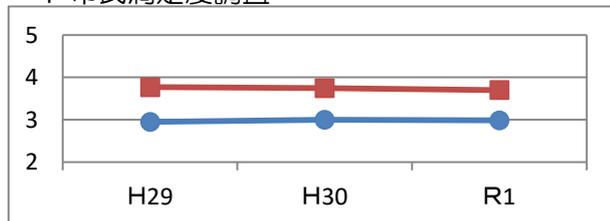
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
青少年育成事業【生涯学習課】	青少年相談員の街頭巡回活動は定期的実施されていますが，仕事をもつ相談員の活動参加が難しいため，活動へ参加できるような事業計画を検討していく必要があります。
子ども会育成事業【生涯学習課】	年々子ども会加入児童数は減少傾向ですが，児童の健やかな成長に大切な役割を果たしている子ども会事業について，引き続き支援をしていく必要があります。

※主要事業は予算事業と一致していません。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
青少年相談員街頭活動回数	青少年相談員及び特別青少年相談員の街頭活動回数	回	68 (H28)	70	67
青少年を育てる石岡市民の会事業数	青少年を育てる石岡市民の会が開催する事業数	回	6 (H28)	7	6
石岡市子ども会育成連合会事業数	石岡市子ども会育成連合会が開催する事業数	回	5 (H28)	6	6
青少年ボランティア活動回数	青少年ボランティア団体がボランティア活動をした回数	回	14 (H28)	15	9

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.95	3.77
平成30年度調査	3.00	3.75
令和元年度調査	2.99	3.70

令和2年度石岡みらい創造プラン施策評価シート

政策目標	06歴史・文化・未来を育む学びのまちへ
基本施策	07歴史・文化財の保護・活用
具体的取り組み例	文化財継承のための修理支援，文化財の有効利用

1 総括評価

進捗状況評価	B	総括評価	発掘調査経費，文化財保護保存及び普及経費について計画的に進めることができました。指定文化財及び国登録文化財数は144件となり目標を達成しています。さらに，企画展や文化財調査報告会を開催し活用をはかりました。また，茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺とともに国指定史跡化を目指します。
		今後の方向性	保存活用地域計画を策定し適正な保護保存活用をはかってまいります。また，常陸国分寺跡保存活用計画が策定されたことからその運用をはかってまいります。
		A 順調 B 概ね順調 C 遅れている D 見直しが必要	

2 主要事業の概要

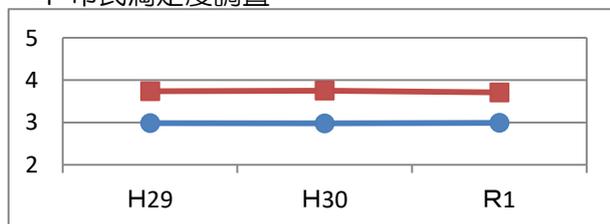
事業名【担当課】	事業の成果と今後の方向性
発掘調査経費【文化振興課】	令和元年度は全体的な件数は例年よりやや多いといえます。発掘調査は大変重要な事業であることから，今後も事業を現状維持で実施します。ただし，依然として，全ての開発を把握できている状況ではないため，今後はより活用をはかることにより，文化財の重要性を市民に広げていきます。茨城郡家推定地である外城遺跡の調査を行い茨城廃寺跡とともに国指定化を目指します。
文化財保護保存及び普及経費【文化振興課】	文化財の保護保存及び活用事業は，今後ますます重要度が増すと思われることから，普及啓発の推進をはかっていきます。また，国指定文化財については，令和元年度に常陸国分寺跡の保存活用計画を策定しました。今後は，文化財保存活用地域計画の作成に取り組んでいきます。また，国指定を受けた史跡の公有地化を計画的に取り組んでいきます。

※主要事業は予算事業と一致していないことがあります。

3 成果指標

指標名	施策の説明	単位	初期値	目標値	R1 (実績値)
指定文化財及び登録文化財	国・県・市指定文化財及び登録文化財件数	件	142 (H28)	143	144
歴史ボランティアの会会員	歴史ボランティアの会会員数	人	23 (H28)	27	26

4 市民満足度調査



	満足度 (●で表記)	重要度 (■で表記)
平成29年度調査	2.98	3.74
平成30年度調査	2.98	3.75
令和元年度調査	2.99	3.71